2009年度事業報告

1. 環境活動支援

① 情報発信

県内の環境活動団体の取り組みや開催予定の環境イベント、環境活動のための助成金情報等を収集し、広く県民に提供する。

事 業 名	概　　要	実施内容
メールニュース 「えこらぼだより」	高知県内の環境に関するイベントや助成金情報の集約、発信	● 発行回数：　56 回（毎週 1 回発行） ● 配信者数：　475 人（メール 455、FAX19、郵送 1） 前年度比 140 人の増加 掲載情報は、環境の杜こうちの会員や県内の環境団体、県の地域支援企画員等から提供されたものや、インターネット等を情報源とした。
ホームページの運営	ホームページの管理・運営	アクセス数：　141,228 ● 環境活動支援センターえこらぼ　69,760 ● ブログ「えこらぼ物見遊山 web 版」　44,650 ● ブログ「コツコツカツコツ web 日記」　12,862 ● 環境の杜こうち、温暖化防止センター、県民会議ホームページの合計　13,956
	環境学習講師データベースの管理	● 2009 年度新規登録：　1 名 ● 2010 年 3 月 31 日現在の登録講師：　95 名 ● 11 月に登録情報の更新を実施 環境活動支援センター事業（高知県）として講師に支払う謝金の予算がなく、講師登録を増やすことが難しかった。

② 環境活動支援

環境団体等の活動が活性化するようサポート機能を担う。

事 業 名	概　　要	実施内容
中土佐町省エネ・地球温暖化対策実行計画づくり支援	町職員で組織する「省エネ、温暖化防止実行委員会」とともに、町の率先行動となる「中土佐町省エネ・地球温暖化対策実行計画」の策定	【第１回】省エネ、温暖化防止実行委員会（21.8.11） 【第２回】省エネ、温暖化防止実行委員会（21.11.09） ①委員会の戦略を考える。 ②委員会の事業領域について 「省エネ、温暖化防止調査、分析うながし業」 ③委員会の使命を設定 「当面全職員を対象として電気料を削減する。その物差しは、大野見庁舎、中土佐庁舎とする。」 【第３回】省エネ、温暖化防止実行委員会（21.12.21） 使命の再確認：「職員が自宅へ帰ってＥＣＯ（エネルギー削減）を心がけるように習慣付けること」 【第４回】省エネ、温暖化防止実行委員会（２２.２.１９） ①得られた価値に順位をつける。
福山市まちづくりチャレンジワークショップ支援	まちづくりチャレンジワークショップの開催	【第１回】テーマ「まちの原石の見つけ方」 11 月 20 日（金），11 月 21 日（土），12 月 4 日（金） 【第２回】テーマ「まちの原石の磨き方と育て方」 2 月 13 日（土），2 月 16 日（火），2 月 17 日（水） 【番外編】「ごみから考えるまちづくり」 2 月 17 日（水）13:30～16:30 ● 主な参加者：各学区（町）まちづくり推進委員会、自治（町内）会連合会、福祉を高める会、ボランティアの会、在住行政職員の会の延べ 400 人。 できるだけ複数人での参加を呼びかけた。

③ その他

事 業 名	概　　要	実施内容
環境にやさしい買い物キャンペーン	10 月の 3R 推進月間に合わせ、マイバッグを持参する、過剰包装を避ける、詰め替え商品を選ぶ等の行動を促すキャンペーンの実施	●実施期間：平成 21 年 10 月（3R 推進月間） ●ポスター、チラシの作成：高知県地球温暖化防止県民会議で作成したキャラクター「エコくろしおくん」を使用した。 ●参加者：県民会議を通じて呼びかけた事業者等 14 団体 ●ポスターの掲示：１０団体１２０枚 ●チラシ配布：２団体 ●その他：ポスター掲示とともに、マイバッグ販売や特典付加、店内放送などを実施

2. 環境学習支援

① エコまなぶ等貸出

環境活動団体などに貸し出す体験型環境学習車「ECO まなぶ」の環境関連器材の維持管理や貸出及び利用促進に関する業務を行う。

事 業 名	概　　要	実施内容
ECO まなぶ等貸出事業	ECO まなぶと、環境学習等に使用する器材の貸出を行うことによる環境学習･環境体験学習の支援	●ECO まなぶの貸出件数：　13 件 ●利用目的：　水質・水生生物調査（12 件）自然・生物観察（6 件）環境学習（7 件）会議・フォーラム（3 件）セミナーや講演等（32 件）環境イベント（30 件）など
	えこらぼに登録された講師を紹介することによる環境学習･環境体験学習の支援	●環境学習講師紹介件数：21 件 ●紹介された講師数：　10 人 うち生徒（小・中学生）を対象とした紹介：　6 件 ●依頼の多かった事業内容：　自然・地球環境に関する講座・勉強会、行政のまちづくりなど

② こどもエコクラブ事務局

環境省が行う「こどもエコクラブ事業」の県事務局および市町村事務局がない区域の市町村事務局として、子どもたちが取り組む環境学習を支援する。

事 業 名	概　　要	実施内容
こどもエコクラブ事務局	こどもエコクラブの高知県事務局として、子どもたちが取り組む環境学習の支援	①こどもエコクラブの登録推進 ●エコクラブ登録数：　24 クラブ（内学校関係 16） ●メンバー数：　164 人 ②こどもエコクラブの情報管理 ③こうちこどもエコクラブ交流会 ●実施日：2010 年 2 月 7 日（日）『えこらぼの文化祭』 ●会場：こうち男女共同参画センター ●参加者数：2 クラブ、11 人 ●実施内容： １年間の活動をまとめた壁新聞等を使った活動発表 えこらぼの文化祭見学 サポーター（大人）の意見交換会

３. 地球温暖化対策の推進

(1) 県民運動促進事業

地球温暖化防止のための県民会議の運営を通して県民の温暖化対策を推進した。

① 高知県地球温暖化防止県民会議の運営

県民会議事務局として地球温暖化に関する情報の収集・提供や地球温暖化防止に向けた普及啓発に関する業務を行う。

事 業 名	概　　要	実施内容
高知県地球温暖化防止県民会議運営	総会、運営委員会の開催及び各部会の活動促進	①総会の開催 • 開催日：2009 年 7 月 17 日 • 場所：こうち男女共同参画センター3 階大会議室 • 出席者数：102 団体、127 名 ②運営委員会の開催（5 回） ③部会の開催及び活動の促進 • 県民活動促進部会 部会 5 回、ワーキング 6 回、地域ブロック会議 3 回、省エネ電球取換え推進活動実施、企業の環境マネジメント説明会 • レジ袋削減運動推進部会 部会 4 回、ワーキング 4 回、県民会議イメージキャラクター作成、男も持つぞ！マイバッグ！キャンペーン実施 • グリーン購入推進部会 部会 4 回、ワーキング 5 回、エコホテル勉強会 • 公共交通利用促進部会 部会 6 回、ワーキング 2 回、エコ通勤ウィーク実施 • 森林吸収対策部会 部会 5 回、ワーキング 2 回、森づくり普及啓発パネル作成 ④パンフレットの作成 ⑤ホームページリニューアル及び更新（告知、公表等）

② 県民会議普及啓発事業

これまで行ってきた温暖化防止活動を県民会議と関連させ、より一層の普及を目指した。

事 業 名	概　　要	実施内容
のいち動物公園「地球温暖化ストップにがんばっ展０９　エコ展」	県立のいち動物公園が企画した地球温暖化問題の普及啓発イベントへのパネルや資料の貸し出し	【展示内容】 • エコ関係の県内組織や取り組みの紹介を実施。 • シンプルでスローなエコスタイル「ロハス」の紹介 • 「エコアス馬路村」（高知県馬路村）の monacca シリーズ商品展示 • 職員の家庭等でのエコ取り組み事例の紹介 • WWF ジャパンパネル展 • 「地球温暖化の影響と取り組み」「地球温暖化とホッキョクグマ」 • 動物公園のエコ取り組み事例の紹介
県庁ロビー展	６月の環境月間と１２月の地球温暖化防止月間における、県庁ロビーを使った啓発展示の実施	①実施期間：6 月 1～15 日（環境月間） 地球温暖化の現状を伝えるパネルや取り組み紹介、関連ポスター等を展示 ②実施期間：12 月 1～15 日（地球温暖化防止月間） パネル類のほか、日本・アメリカ・中国が排出するＣＯ２の重さを、実際に持ちあげて体感する「エネルギーのカバン」、「エコみくじ」、廃れた傘やよさこい衣装をリサイクルした様々な「エコバッグ展示」等を実施。

高知県地球温暖化防止県民会議 市町村地域ブロック会議	高知県の地球温暖化防止に向けた施策及び高知県地球温暖化防止県民会議、高知県地球温暖化防止活動推進センターの活動への理解と協力を促すための県内各市町村の環境担当部局との意見交換会の実施	【議題】 ●高知県の主な事業概要 ●県民会議としての動き（高知県地球温暖化防止県民会議、高知県地球温暖化防止活動推進センター、高知県地球温暖化防止活動推進員について） ●その他（高知県環境マネジメントシステム、豊かな環境づくり総合支援事業、住宅用太陽光発電導入支援対策費等補助金について） ●意見交換 ①東部ブロック会議 ●実施日：平成 21 年 4 月 13 日（月） ●会場：安芸総合庁舎　第３・４会議室 ②中部ブロック会議 ●実施日：平成 21 年 4 月 14 日（火） ●会場：工業技術センター研修棟　第１・２研修室 ③西部ブロック会議 ●実施日：平成 21 年 4 月 21 日（火） ●会場：幡多総合庁舎　2 階会議室
気候情報勉強会	高知地方気象台、高知県環境共生課、高知県地球温暖化防止活動推進センターの３者間で地球温暖化等気候変動に関する情報を共有するための意見交換の実施	●「高知の気候変化」 高知地方気象台防災業務課調査官　黒田修作氏 ●「地球温暖化の現状と今後」 国土交通省気象庁気候情報課情報係長　大野浩史氏 ●「高知県庁環境マネジメントシステム」について説明 高知県環境共生課　橋田麗帆氏 ●高知県地球温暖化防止活動推進センターの活動内容 高知県地球温暖化防止活動推進センター　近藤純次 ●高知県地球温暖化防止県民会議について 事務局　松本　孝 ●意見交換
省エネ電球取り換えキャンペーン	大川村民、省エネマイスター、高知県地球温暖化防止活動推進員などによる大川村全世帯の白熱球を省エネ型蛍光電球への取り換え	大川村職員、ボランティア、省エネマイスター、温暖化防止活動推進員、「まるごと！省エネ電球取り換え実行委員」が 4 人 1 組で大川村全家庭を訪問し、白熱球から省エネ電球への取り換えを行った。 ●実施日：平成 21 年 10 月 10 日、11 日 ●取り換えた電球：１戸当り平均５個、240 世帯 1,200 個 ①「まるごと！省エネ電球取り換え実行委員会」を組織 地球温暖化防止県民会議県民活動促進部会員、経産省環境省高松事務所、報道関係等 ②大川村内の白熱球のW数と個数を調査、村民へのアンケートの実施 ③広報啓発活動 ●高知県地球温暖化防止活動推進員による村民への啓発セミナー（9/13） ●高知市帯屋町土曜夜市でお知らせキャンペーン（8/1） ④取り換え ●省エネマイスターが省エネ電球の取り換えを行う間、推進員が取り組みの趣旨、省エネ電球の優位性を説明、村民の省エネの聞き取り、省エネ相談なども行った。 ※必要な 1,200 個の省エネ電球は高知県電機商業組合がパナソニックと交渉し安価で提供した。
高知県地球温暖化防止県民会議「エコ通勤ウィーク」	マイカー利用の抑制による地球温暖化ガスの大幅な排出削減を目指し、通勤手段を公共交通機関や自転車などに転換する「エコ通勤」についての普及啓発の実施	『「高知エコ通勤ウィーク２００９」　はじめの一歩』 ●実施期間：平成 21 年 11 月 15 日～21 日 ●参加者：県民会議会員の民間事業者９事業所、１大学、高知県庁（計 11 団体、831 人） ●実施前の削減目標：10,330（約 10ｔ） ●削減量合計：5,208 kg（約 5ｔ） ※車からの排出削減量。代替手段の排出増加分は含まない。 ●参加事業所全てを高知県地球温暖化防止県民会議公共交通部会長賞として表彰。上位３事業所を優秀賞とした。

男も持つぞ！マイバッグ！キャンペーン	レジ袋削減を目指して新たな視点で運動を展開するにあたり、会員事業所を通して男性への行動を呼びかける「男も持つぞ！マイバッグ！」キャンペーンの実施	●実施期間：平成 22 年 2 月 16 日（火）～3 月 15 日（月） ●参加事業所：総数：15（民間事業所 11、自治体 4） ●チーム数/参加者数 ： 73 チーム/436 名 ●実施結果：二酸化炭素削減推測総量 322 kg ※レジ袋を断った回数から CO2 の推測量を算出 ●表彰 事業所全体の削減量：105.28 kg　香南市役所 参加者一人当たりの削減量：1.26 kg 大和ハウス工業株式会社 高知支店
えこらぼの文化祭	環境の杜こうちが、これまでの活動を通してできたいろいろなつながりや広がりの一端を、『環境』をキーワードに、わかりやすく楽しくお披露目するイベント	●開催日：平成 22 年 2 月 6 日～7 日 ●会場：　こうち男女共同参画センター ●展示等に参加・協力した団体数：20 団体 ●来場者数：約 350 人 ●内容： ・ネイチャー絵画展　・生きものパネル展 ・エコ農産物直販市　・生きもの写真展とシールラリー ・ネイチャークラフト教室　・服もってけおいてけ市 ・エコクッキング味見コーナー　・鹿肉料理の試食 ・エコな部屋（家庭でできる省エネ対策） ・手動発電で動かす鉄道模型　・MAKE the RULE 署名 ・コツコツ電気削減コンテスト抽選会 ・環境学習器材、学習プログラム展示 ・動物の足跡石膏づくり　・いきもの移動博物館 ・ネイチャーサロン　・温暖化シアター ・高知県地球温暖化防止フォーラム ・こどもエコクラブ＆環境ホップステップ支援事業活動発表会 ・50/50 モデル事業＆コツコツ電気削減コンテスト表彰式

(2) フィフティ・フィフティ事業

学校における環境活動として、電気水道の削減を行い、削減できた光熱水費の 50%を学校に還元するフィフティ・フィフティ事業を自治体に取り組んでもらうことを目標とする。

事 業 名	概　　要	実施内容
2009・コツコツ削減コンテスト	高知県内の公立小中学校、県立学校、公立保育所・幼稚園で電気・水道の使用の削減を目指す活動に取り組み、過去３年の同時期の平均と比較し本年の削減率を競うコンテストの実施	●募集期間：7 月～8 月末（9 月以降も引き続き募集した） ●コンテスト期間：9 月～12 月末 ●参加校：高知県内 11 の小・中・高等学校 ●表彰式：平成 22 年 2 月 7 日（えこらぼの文化祭） ［最優秀賞］ 梼原町立梼原中学校 削減率：-77.1%，副賞 100,000 円 ［優秀賞］ 香南市立夜須小学校 削減率： -22.8%，　副賞 83,335 円 室戸市立吉良川小学校 削減率： -18.9%，　副賞 54,688 円 仁淀川町立池川中学校 削減率： -14.0%，　副賞 40,513 円 高知県立高知江の口養護学校 削減率： -9.0%，　副賞 26,038 円 香美市立舟入小学校 削減率： -8.7%，　副賞 25,163 円 高知市立江陽小学校 削減率： -7.0%，　副賞 20,263 円

4. 高知県地球温暖化防止活動推進センター

(1) 環境省関連

① 高知県地球温暖化防止活動推進センター

高知県地球温暖化防止活動推進センターの業務と連携し、効果的な事業実施を目指した。

事 業 名	概　　要	実施内容
平成 21 年度 地球温暖化防止活動推進員等研修事業(高知県センター)	経験年数により習得レベルの異なる推進員に対し、基礎講座・パワーアップ講座・応用講座の３種類の研修を用意し実施	①基礎知識講座 地球温暖化防止活動推進員として活動していく上で必要な基礎知識や温暖化の最新情報などを学ぶ機会とした。 ●第 1 回講座：平成 21 年 7 月 4 日 地球温暖化防止活動推進員の役割について理解し、地球温暖化の原因、現状を学び最新の情報を得て、地球温暖化防止のために何をすべきかの課題を持つ事を目的として学習。 ●第 2 回講座：平成 21 年 8 月 22 日 高知県の地球温暖化の現状と対策、高知県の地球温暖化防止計画（森林吸収源、排出量取引など）を知り、省エネについても学ぶ。 ●第 3 回講座：平成 21 年 8 月 22 日 地球温暖化の具体的取り組み、省エネの実践例などを総合的に学習。 ②パワーアップ講座 ●第 4 回・第 5 回講座：平成 21 年 9 月 5 日（同日開催） 推進員がセミナー等を行う際、省エネについてより具体的な方法を提示出来るように「省エネ家電をより省エネに使う方法」「高知版省エネ家電診断プログラム」をテーマに講座を開き、知識習得に努めた。 ③応用講座（同内容で平日・週末の 2 回開催） ●開催日：平成 21 年 7 月 15 日（水）・7 月 18 日（土） 前年度の推進員から要望の多かった「伝える技術のスキルアップ講座」を開催し、コミュニケーション力の向上を図った。また、わかりやすく伝えるツール獲得を目指し「フードマイレージ」のワークショップを行った。
平成 21 年度 地球温暖化防止活動推進員ＯＪＴ等実践強化型研修事業(高知県センター)	地球温暖化防止活動推進員が主体的に取り組みを進められるよう、企画立案の手法を学び、それを実践に移す講座を開催。大川村まるごと！省エネ電球取り換え大作戦！を実地研修の場とした。	①企画立案講座 ●企画の構想：平成 21 年 6～7 月 推進員が 2 名以上のグループをつくり、企画を構想する。 ●企画立案のための基礎講座 実施日：西部地区　平成 21 年 7 月 25 日 中央地区　平成 21 年 7 月 26 日 東部地区　平成 21 年 7 月 29 日 ●企画書の作成と実践：平成 21 年 8 月～12 月 各グループで企画書を作成、プロジェクトを実践に移す。最終的に 5 グループが実践を行った。 ●プロジェクト報告会：平成 22 年 1 月 16 日 ②大川村まるごと！省エネ電球取り換え大作戦 ●地球温暖化防止セミナーの実施：平成 21 年 9 月 13 日 大川村の住民に、身近にできる温暖化防止の取組を紹介 ●事前説明会の開催：平成 21 年 10 月 5 日 ●大川村まるごと！省エネ電球取り換え大作戦の実施 平成 21 年 10 月 10 日、11 日 大川村において全世帯の白熱球を省エネ電球に取り換える計画に参加した。

温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業	地域の創意工夫を活かした地球温暖化防止活動の取り組みを発掘し、コンテストを実施することによって、県内の温暖化防止の気運を高め、それを全国へ発信する。高知県内では「コツコツカツコツコンテスト」という名称で実施	①実行委員会の開催 ②取り組みの掘り起こし 100 件の取り組み発掘を目標に掲げ、県内各地の取り組みを調査し、コンテストの応募に繋げた。 ③取り組みのヒアリング 取り組みをより具体的に把握するため、掘り起こした取り組みほぼ全てに対してヒアリング取材を行った。 ④県大会の開催 ●実施日：平成 21 年 11 月 8 日（日） ●場所：高知市青年センター「アスパルこうち」 ●参加者：集めた取り組みの中から 14 団体・個人を選出 ●県代表の選出：森昭木材株式会社 ⑤全国大会への参加（東京） ●開催日：平成 22 年 2 月 13 日（土）14 日（日） 高知県代表は優秀賞を受賞
二酸化炭素排出抑制対策事業（普及啓発・広報事業 1）地球温暖化防止フォーラム	地球温暖化の現状を広く県民に伝えることを目的とした講演会	●日時：2010 年２月６日（土）13：30～15：20 ●場所：こうち男女共同参画センター「ソーレ」大会議室 ●参加者数：約 100 名 ●事業概要：ＪＡＬ国際線パイロットを招いて講演してもらうことにより、飛行機から見た地球温暖化の影響を学ぶと同時に、企業が実施しているＣＳＲ活動を知る機会とした。また、より身近な高知県内の温暖化防止活動を紹介するＤＶＤを上映することにより、行動に移してもらうきっかけとした。
2）地球温暖化防止セミナー	温暖化の最新情報や生活との関連性を伝え、実践に繋げてもらうことを目的に、地域住民の身近な所（公民館、集会所、学校など）で温暖化防止セミナーを開催	●開催回数：　34 回 ●参加者総数：1691 人 ●主な対象者：老人大学、消費者グループ、地域住民の会、小学校　など
3）CO2CO2（コツコツ）電気削減コンテスト（家庭版）	高知県下の一般市民に対して、電気使用量の削減率を競うコンテストを実施	●コンテスト応募者数：300 名 ●平均削減率：20.4%（上位は 70%以上） ●CO2 の削減量：11.51 トン 今年度は県内全域から参加者を募ることを目指し、各地で実施されるイベントに出展、検針表の持参を呼び掛けた。コンテスト結果は 2010 年 2 月 7 日開催の『えこらぼの文化祭』で発表し、表彰状と副賞を贈呈した。
4）企業セミナー	企業トップの方針をどう現場に生かすか。CSR におけるステイクホルダーとのコミュニケーションの図り方。第３者評価の活かし方。現場における温室効果ガス削減の事例に学ぶ	●日時：2009 年７月 17 日（金）14：00～15：30 ●場所：こうち男女共同参画センター　ソーレ ●参加者：１２７名 ●講師：川北 秀人 氏　IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表
5）いきものみっけ	一般の人々が身近な生きものを観察し、そこから見えてくる温暖化の影響を感じとってもらい、地球温暖化を自分のこととして考え、行動できる人を増やしていくことを目的に実施	①アサギマダラ観察会 ●実施日：平成 21 年 10 月 10 日　午前 8 時半ー午後 3 時 ●場所：高知県香美市土佐山田町及び香北町の秋葉山周辺 ●講師：山崎三郎（高知県自然観察指導員） ●参加者：20 名 ②ヤマアカガエルの卵の観察会 ●実施日：平成 21 年 12 月 27 日　　午前 10 時ー12 時 ●場所：須崎市新荘公民館及び須崎市押岡の田んぼ ●講師：谷地森秀二（四国自然史科学研究センター長） ●参加者：17 名

5. その他

(1) 自主事業等

事 業 名	概　　要	実施内容
えこらぼ環境ホップステップ支援事業	活動資金助成	●募集期間：平成２１年８月 26 日～9 月 15 日 ●活動期間：給付決定日～平成 22 年 2 月 28 日 ●助成金額：定額 5 万円（事業費総額が５万円未満の場合は全額助成） ●応募団体：3 団体 ●助成団体及び活動概要 ①小野川・谷川再生隊 「子ども達が遊べる小野川・谷川を取り戻す！！」 両河川を埋め尽くした葦の除去作業を周辺住民が行う ②自然観察指導員連絡会 「観察から保全活動へ「高見山（皿が峰）草地復元活動」」 これまでの観察活動から、高見山の草地性植物の復元のための保全活動へのシフト ③子育て支援ネットワークろばみみ 「環境浄化微生物（えひめＡＩ）をつくり地域を活性化させる事業」 えひめＡＩを増やし、地域全体で使うことによる生活環境の改善を目指し活動を行う。 ●成果報告：2 月 7 日「えこらぼの文化祭」で実施。
学校移動博物館「土佐の動物」	高知県内の限られた標本収蔵施設へ出向かなければ見ることができなかった自然史資料を、もっと身近に触れ、学習できる機会を児童生徒等に提供することを主な目的に実施	【開催場所】 ●四万十市立西土佐中学校：11 月 2 日～12 日 ●津野町立葉山中学校：11 月 16 日～12 月 4 日 ●馬路村立馬路中学校：平成 22 年 2 月 16 日～22 日 ●四万十町松葉川温泉：平成 21 年 7 月 8 日～9 月 17 日 ●愛媛県松野町ぽっぽ温泉：10 月 30 日～11 月 2 日 ●四万十市西土佐ふれあいセンター：11 月 12 日～16 日 ●ソーレアトリウム：平成 22 年 2 月 6 日～7 日 【展示内容】 ●高知県で生息が確認された哺乳類（タヌキ、キツネ、イノシシなど） ●同鳥類（カワセミ、スズメ、サンコウチョウなど） ●同水生昆虫類（カワゲラ類、トビケラ類、トンボ類など）
環境学習プログラムづくり	高知県内の小・中・高等学校を主な対象に、環境の杜こうちが持っている人材やノウハウ、学習器材を活用し、また、環境の杜こうちが行っている事業等とも連携した環境学習プログラムを提案・実施	①教員を対象にアンケートを実施 ●内容：ゲスト講師を招いて環境教育を実施する際の学校側の条件や教員の意識等について ●対象：高知市教育研究会・環境教育部会に属する小･中学校の教員 58 人＋数名の小学校教員 ●回答：29 人 ②『えこらぼの文化祭』で学習プログラム例（4 件）を展示 ③提案ツールとしての学習プログラム資料の作成 ②で作成したプログラムを中心に 5 件の学習プログラムを簡潔にまとめた、えこらぼの学習支援事業の紹介と合わせた学校向けのパンフレットを作成。
環境活動見本市	さまざまな団体の活動紹介と交流の場を提供することを目的としたイベント	●実施日：平成 22 年 2 月 14 日（日） ●場所：黒潮町大方「幡多・マーケット『海辺の日曜市』」 ●内容：移動環境学習車『ECO まなぶ』、 ネイチャーサロン（こうちフィールドミュージアム協会）、サンゴのスタンプ（黒潮生物研究所＆高知ケナフ普及会）、もてるかな？エネルギーのかばん（高知県地球温暖化防止活動推進員）、竜串自然再生事業パネル展示（環境省土佐清水自然保護官事務所）、自転車発電（高知工科大学電子・光システム工学科） 展示参加と並行して、『海辺の日曜市』の出店者 7 名に取材を行い、後日えこらぼのブログに掲載した。

ESD ミーティング高知「ESD リーダー養成講座」	ESD(持続可能な開発のための教育)の考え方に基づいた学校教育の実践例や、地域から世界までの取り組み例を学び、参加者それぞれの実践につなげていくことを目指して実施（四国環境パートナーシップオフィスとの共催）	●講師：丹下晴美氏（元今治市立鳥生小学校校長） ①第１回 ESD リーダー養成講座 テーマ「子どもたちとともに考えようー食・環境・平和」 ●開催日：平成 21 年 10 月 3 日 ●会場：　高知市市民活動サポートセンター　大会議室 ②第２回 ESD リーダー養成講座 テーマ「地域づくり×ESD」 ●開催日：平成 21 年 10 月 29 日 ●会場：　高知市市民活動サポートセンター 大会議室 ③第３回 ESD リーダー養成講座 テーマ「人が育つ・人づくり×ESD」 ●開催日：平成 21 年 12 月 5 日 ●会場：　㈱相愛　レストホール
全国生涯学習フォーラム高知大会･環境プロジェクト委員会への参加	平成 22 年 11 月 20 日から開催される「全国生涯学習フォーラム高知大会」における「環境保全活動におけるＮＰＯ等との連携と環境教育」をテーマとした研究や実施成果等の発表及び研究協議を実施	①第１回環境プロジェクト委員会 ●日時：平成２１年１２月２４日（木） ●議事：基本計画の説明 来年度の事業計画と今後のスケジュールについて ②第２回環境プロジェクト委員会 ●日時：平成２２年１月２２日（金）１３：００～ ●議事：環境プロジェクト事業についての協議 大会当日の事業構成についての協議　その他 ③第３回環境プロジェクト委員会 ●日時：平成２２年３月２日（火）１３：００～ ●議事：環境プロジェクト事業趣旨について 環境プロジェクト当年度事業について 大会当日の事業構成について　その他 ④関連イベント ●高知県若者環境応援団育成事業 高校生、大学生等による、環境問題解決に向けた提案と実践の試行
エコハウス普及促進事業（２１世紀環境共生型住宅のモデル整備）	環境省「２１世紀環境共生型住宅のモデル整備による建設促進事業」により整備されるモデルハウスを活用し、県内でエコハウスの普及をめざす	モデルハウスとして、全国20箇所程度に整備されるもので、その一つが高知県内に整備された。 当年度は、広報委員として、エコハウスの竣工までの告知方法（ＨＰ、パンフレット）等について検討を行った。
太陽光発電補助金交付申請受付窓口業務	電力会社と電灯契約を結ぶ個人の住宅へ太陽光発電システムを設置する際の支援として、国が交付する補助金の申請受付窓口業務	①募集資料、ポスター、パンフレットの配布窓口 ②補助金交付申請書類等の受付 高知県内設置、あるいは県内に事業所をおく設置会社が申請の代行を行う場合、高知県窓口として各種書類の受付を行う。書類の一次審査後、内容を電子登録、原本書類はセンター宛に郵送、控えの書類を窓口で保管・管理する。センターでの２次審査後、書類に不備があった場合、補完依頼等連絡のやりとりを行い、書類をセンターに再送付する。 ③設置状況の確認 センターより依頼があった場合、設置状況の調査確認を行い、報告する。 ④補助金情報の集約、提供 ⑤問い合わせ対応 ⑤太陽光発電普及拡大センターとの情報共有 補助金の申請状況や交付決定番号、交付決定日、補助金振込み完了日などは、各窓口の端末電子データで確認できるよう、センターが随時更新を行う。また、申請者より確認の依頼があった場合は対応する。